

～洪水 地震 火事～ 防災避難訓練 町会の防災力を高めよう！ 梶町四丁目町会

6月29日(日) 梶小学校 体育館



梶町四丁目町会の防災避難訓練が、赤十字奉仕団梶エリア、一般社団法人予防団、日本防災士協会大阪府支部、守口市危機管理室、守口消防署 東部出張所の協力のもと開催されました

ご自身も防災士の資格を取得されている町会長が企画し実施されました。



現役消防士と消防設備士によって設立された団体である「予防団」の方が消火器や非常口等の消防設備の説明、災害に備える“いのちの授業”をされていました。



訓練の様子はドローンで空撮されていました→



非常トイレや段ボールベッド、備蓄食などの防災グッズの展示、感震ブレーカーや救助袋などの予防避難設備の説明もありました。



消防署の方が胸骨圧迫とAEDの講習を実施しました。胸骨圧迫は肘が曲がった状態は×、胸を張った状態にし、1分間に100～120回が目安との説明があり、順番にデモの人形にて体験を行いました。その他には、消防クイズや放水ホースを投げるゲームも行われていました。

防災士の方より、過去に起こった災害映像の視聴をしながらの解説がありました。もし淀川が氾濫したら、梶校区で想定されている浸水は3～5m、2階部分まで水に浸かってしまいます。南海トラフ地震はその発生周期から数十年以内に確実に起きる、また直下型の地震は予想が出来ず、もし上町断層が動いたら梶校区でも震度6強が被害想定されているとの話がありました。



今回参加させていただき、日頃の防災への備えの重要性を再認識すると共に、災害発生時には、地域で協力して助け合う「共助」が大切となります。減災のためにも、防災への意識が広がって欲しいと思いました。